

知っておきたいこと(古池)

小松原は約350年余り前より稲作がなされてきました。稲作にもっとも必要なものという田んぼは当然のことですが、もうひとつに大量の水があげられます。この小松原は三方を山に囲まれています。それが雨水を集める基盤となる山ですが次の四つです。

1. ほの山(縦5丁横8丁)
2. 太郎水山(縦3丁横5丁)
3. ちゃうてん(縦3丁横4丁)
4. 段原山(縦1.5丁横1.5丁)

この山の周りにため池が次のように8か所ありました。

番号	名称	池面積	調査年(村調べ)
1	かけ奥	1反	寛文2年(西暦1662年)
2	うつ木谷	2畝	寛文2年(西暦1662年)
3	ちゃうてん	3畝	寛文2年(西暦1662年)
4	ちゃうてん	1反	寛文2年(西暦1662年)
5	滝口	4反	正徳6年(西暦1716年)
6	かや迫	3反	宝暦6年(西暦1757年)
7	中ノ迫	3畝	享保2年(西暦1717年)
8	城ヶ谷	2畝	宝暦5年(西暦1756年)

しかし新雨池として太郎水山の流域にもう一つ築造されました。それが今回取り上げる太郎丸池(通称古池)です。

ため池の概要を記します。

番号	名称	池面積	調査年(村調べ)
9	太郎丸	5反	寛政7年(西暦1795年)

堤体規模

堤長 28間 根置 15間
馬踏 1.5間 高さ 3間

なお、建設年度は正徳5(西暦1715)年です。

当時の小松原は人口394名(戸数86軒)で、耕作される水田は14丁8反でした。農業用水、生活用水を含めた小松原の人と地を上記のため池で潤していたことになり、昔は古池へ燃料にする薪を集めに一日に2回通ったり、水番が池の樋を管理するため通ったりして道中の道路はきれいに整備されていました。また、夏の終わりには池の水を抜き、堆積した土砂、木くず、枯葉などを住民が取り除き池の清掃管理をしていました。余談ではあるがその時には鯉やウナギなどが獲られて食卓を飾ったということです。古池にいく経路に沿っては四季折々のきれいな風景が観られ、また小松原の家屋と海、島が一望できるところもありこの”絶景”は歩く人の心も潤したように思います。

古池はいまも当時の野面石による護岸が残り、堤防の下方にはそのころ建立されたと思われる石碑があります。約300年が経過したと思われる石面は風化がすすみかすかではあるが”山内”という文字がみられ、建設時のことが偲ばれます。

このように先人が造り、守ってきたため池であります。現在は途中の道が大雨によって土砂が崩落したり流失して人が通行することは困難な状況となっている。小松原の先人たちが汗をながし、長い年月をかけて築いた道を現在に継承しこの歴史を将来に残したいと思います。

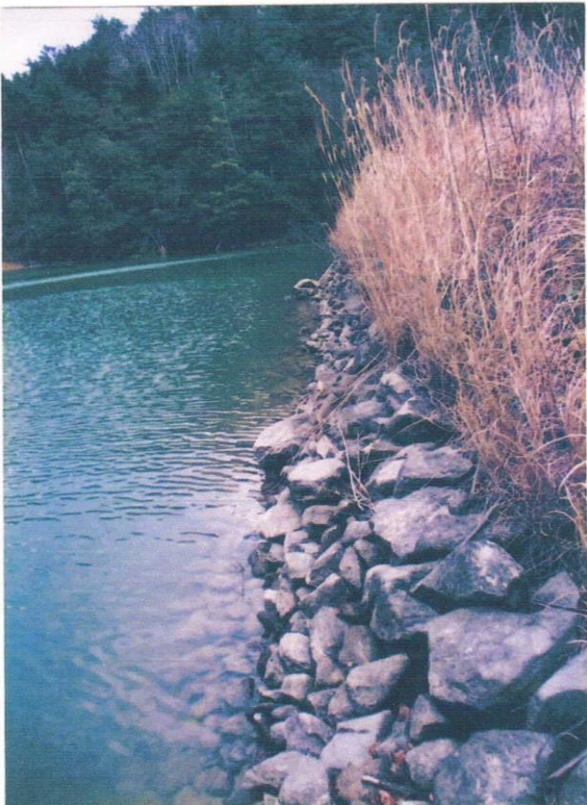
(小松原役方要用記より抜粋)



古池・遠景



穏やかな水面



堤防の石積



石碑 かすかに文字が読める

当時の地名略図



『編集後記』

月日の経つのは早いものです。今年度も「七味」の発行に向け、部員一同昨年の反省も踏まえながらよりよいものにしたいと考え、論議を重ね発刊出来ることになりました。

区民の皆さんがどのような情報を望まれているのか解らない面もありますが、行事報告等も必要ではないかと思っています。今、自治会が取り組んでいる活動、内容等も機会があれば誌面において掲載できればと考えています。特に小学校跡地利用(集会所の移設)、山下水産(株)における悪臭問題そして台風シーズンに向け自主防災の取り組み等々、区民の皆様が関心を持たれている話題を提供できないか検討しているのが現状です。発刊にあたり、今後原稿等を依頼することがあると思いますがご協力をよろしくお願いいたします。(K)

編集部員

【原稿を募っています。下記の編集部員へご連絡下さい】

増田法生	温もりの会会長	45-1639
日浦寿久	新地2区代表・自治会幹事	090-3634-5670
松田陽子	下条1区代表	45-1375
木谷英幸	上条4区代表・自治会副会長	45-2227
木戸康裕	上条3区代表・広報部部长	45-2087

平成26年8月

題字『七味』について

小松原自治会広報部発行の『七味』は地域の機関誌として約28年間継続して発行しており、途中で休刊や組織名称の変更がありました。『七味』の題字は一貫して変わらず馴染みの深いものになっています。

その『七味』の由来は、小松原地域の各種団体がその各々の特色をかし出し一層よい味を出すという意味を

こめて、当時の小松原小学校校長大迫隆史先生(昭和59

～62年)に『七味』と命名して戴き、当時小松原で書道を教えておられた松田弘江先生の書によります。



大芝大橋はこんな橋です。

持ち主	広島県農林部
制作年	平成5(1993)年～平成9(1997)年10月
事業費	33億円
路線名	農道小松原大芝線
橋長	470m
最大支間長	210m
幅員	5.0m(車道4.0m)
橋種	2面吊ハープ型PC斜長橋
主塔高	70.81m
航路限界	18.0m

広報部より

表紙の大芝大橋の写真は大芝出身で写真が趣味の中村氏が撮影されたものです。希望される方はA4版カラーコピーを差し上げます。広報部までご連絡ください。

